

ヒト角化細胞由来トランスグルタミナーゼ1、組換え型

Cat. No. NATE-1723

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

トランスグルタミナーゼは、ヒト皮膚扁平上皮癌から分離されたI.M.A.G.E.-クローンIRAKp961M1628のTGM1アレルに基づいています。これはN末端にヘキサヒスチジンタグが融合されており、エンコードされたN末端アミノ酸配列はMHHHHHHMDGPRです。トランスグルタミナーゼはIMACによって90%以上の純度で精製されます。

用途

この製品は、タンパク質やペプチド中のグルタミン残基から一次アミンへのアシル転移反応を触媒します。例えば、ペプチド結合グルタミン残基のアシル基をペプチド結合リジン残基の一次アミノ基に転送することによって、タンパク質間のε-(γ-グルタミル)リジン結合の形成を行います。この酵素は免疫沈降にも使用される可能性があります。

別名

トランスグルタミナーゼ; EC 2.3.2.13; 80146-85-6; トランスグルタミナーゼ; フアクターXIIIa; フィブリノリガーゼ; フィブリン安定化因子; グルタミニルペプチドγ-グルタミルトランスフェラーゼ; ポリアミン・トランスグルタミナーゼ; 組織トランスグルタミナーゼ; R-グルタミニルペプチド:アミンγ-グルタミルトランスフェラーゼ; タンパク質-グルタミンγ-グルタミルトランスフェラーゼ; TG1

製品情報

種

人間

由来

E. coli

外観

白色の凍結乾燥固体。

形態

トランスグルタミナーゼは、50 mM Tris-HCl pH 8.0、10 mM グルタチオンから凍結乾燥されます。

EC番号

EC 2.3.2.13

CAS登録番号

80146-85-6

分子量

90 kDa

純度

> 90 % (SDS-PAGEによる視覚的)

活性

> 2,500 U/mg [活性は、Lorand et al.によるN,N-ジメチル化カゼインへのトランスグルタミナーゼ触媒によるモノダンシルカダベリンの取り込み後の蛍光強度を測定することによって決定されます。Anal. Biochem. 44 (221-231)]。

活性化因子

10 mMのCa2+を加えてトランスグルタミナーゼを活性化します。

単位定義

1 Uは、1 a.u./minの蛍光強度の増加として定義されます (Cary eclipse 蛍光分光光度計、Varianで測定; $\lambda_{\text{ex}} = 332 \text{ nm}$, $\lambda_{\text{em}} = 500 \text{ nm}$; バンドフィルター = 5 nm; フローバー強度 = 600 V; 温度 = 37°C, アッセイ体積 = 1 ml)。

使用法とパッケージング

包装

150 μg

重構成

分析証明書に記載された分注の水の量を、凍結乾燥粉末のバイアルに加えます。固体が溶解す

分析試験管に配載された活性の量を一深皿乾燥溶媒アーティカルに加えます。固件が溶解するまでバイアルを優しく回転させます。再構成後、溶液は短期保存のために氷の上で冷却する必要があります。

保管・発送情報

保存方法

$\leq -20^{\circ}\text{C}$ で保管してください。作業用アリコットは $\leq -20^{\circ}\text{C}$ で保管してください。繰り返しの凍結と解凍を避けてください。常温での配達が可能です。